

8月15日～9月3日 月の行事予定

期日	行事予定等
15 日	象潟体育館無料開放日 9:00～17:00
16 月	貯蓄体操 … 13:30～(金浦保健センター)
17 火	コーヒーサロン … 10:00～11:30 (象潟構造改善センター) BSちびっこ運動教室 … 16:00～17:00 (象潟体育館) 20日まで
18 水	コーヒーサロン … 9:30～11:00 (仁賀保勤労青少年ホーム)
19 木	BSリフレッシュヨガ … 10:30～12:00 (仁賀保公民館)
20 金	男性の貯筋体操 … 10:00～11:30 (スマイル)
21 土	インターバル速歩体験会 初心者講習会 9:30～ 実技 10:00～(多目的屋内運動場)
22 日	多目的屋内運動場無料開放日 9:00～17:00
23 月	貯蓄体操 … 13:30～(金浦保健センター)
24 火	
25 水	
26 木	
27 金	象潟地域行政相談 … 13:00～15:00 (象潟公民館) BSヨガ&元気アップ教室 … 13:30～15:00 (金浦公民館) 金浦地域行政相談 … 14:00～16:00 (元気百歳館)
28 土	
29 日	ツキイチコンサート … 開演 14:00 (仁賀保勤労青少年ホーム)
30 月	貯蓄体操 … 13:30～(金浦保健センター) 象潟体育館全館使用不可 9月11日まで
31 火	にかほ市議会9月定例会本会議市政報告ほか … 10:00～(象潟庁舎) ※予定 市民税(普通徴収)第2期・国民健康保険税第2期・後期高齢者医療保険料第2期納期限
1 水	
2 木	にかほ市議会9月定例会本会議一般質問 … 10:00～(象潟庁舎) ※予定 トレーニング室新規利用者講習会 … 18:30 (仁賀保勤労青少年ホーム)
3 金	にかほ市議会9月定例会本会議一般質問 … 10:00～(象潟庁舎) ※予定

新型コロナウイルス感染症が心配なときは

- ✓ かかりつけ医がある場合は、受診前に必ず電話を。
- ✓ かかりつけ医がない、相談する医療機関に迷う、土日夜間等でかかりつけ医が休診の場合は、あきた新型コロナ受診相談センターへ電話しましょう。

あきた新型コロナ受診相談センター
☎018-866-7050(24時間受付)
☎018-895-9176(8:00～17:00)
☎0570-011-567(8:00～17:00)

人口・世帯の動き

()内は前月比 7月31日現在

世帯数	9,392戸	(+ 1)
人口	23,609人	(-13)
男	11,347人	(- 2)
女	12,262人	(-11)



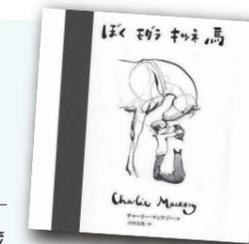
BOOKS

新刊情報

問 市立図書館こびあ ☎32-4100 / 象潟分館 ☎43-2229 / 仁賀保分館 ☎35-4711

今月のオススメ① 『ぼく モグラ キツネ 馬』

チャーリー・マッケジー/著・川村元気/訳
生きてると嫌なことばかりが目に入る。それでも世界は想像もできないほどの愛にあふれている。八歳の子どもから八十歳の大人まで。だれの心にも入り込み、いつでも力をくれる永遠の人生寓話



※仁賀保分館所蔵

今月のオススメ② 『神田のサンマとニューヨークの青空』 ※3館に所蔵

下町の片隅にあるビルを間借りしていたTDKは、音楽用カセットテープが大ヒットしたのを機に急成長し上場企業となる。著者であるTDK元会長が、同社の歩みと自身の半生を記す。

対象	書名	著者
一般書	クメールの瞳	斉藤 詠一
	ドキュメント	湊 かなえ
	博覧男爵	志川 節子
	硝子戸のうちそと	半藤末利子
	生贄探し 暴走する脳	中野 信子
	お菓子はすごい!	柴田書店/編
	妖怪の子預かります 10	廣嶋 玲子
	きんのおのとぎんのおのとたくさんのおの	きしままゆこ
	臨床の砦	夏川 草介
	星落ちて、なお	澤田 瞳子
児童書	冷たい豆満江を渡って	梁 葉津子
	幸せな人生の作り方	坂東真理子
	くう、ねる、うごく! 体メンテ	崎田 ミナ
	ひえひえひんやりリツアー	あおきひろえ
	おめん	辻川 奈美
	地震はなぜ起きる?	鎌田 浩毅
	どこにいるかな? うみのさかなたち	大方洋二/写真・文
	わたしはじゅういさん	シルヴィア・パロチエリ
	ぞうのエルマーいろいろさがしえブック	デビッド・マッキー
	すごすぎる天気の本	荒木健太郎
さくぶんめいじん しょうがく一、二年生	-	
青空モーオー!	堀米 薫	

ここに紹介した新刊図書は一部です。他にも多くの新刊図書がありますので、気軽に職員にお尋ねください。各館、各公民館には最新刊図書リストを置いてあります。



column 部長コラム

「時代の変貌」

昭和59年に象潟町職員として採用以来現在まで時代の流れを実感しています。

採用当時、書類関係はほぼ手書きで作成し、タイプライターを使用するのも稀でした。工事の設計書の作成は、図面作成(ほとんど手書き)、数量の計算、施工単価の計算、直接工事費まで計算したら諸経費は分厚い算定表から工事種別にあつた率を探したり全て手計算で行っていました。工事変更時も同様に計算、金額の調整のため1回目の計算は赤、2回目は青、3回目は緑等金額算定に苦労した記憶があります。また設計書の正書は、カーボン紙を挟んで3部複写で設計書を作成、図面のコピーは感光紙に焼付し涙ながらにアンモニアで発色させる等まさにア

ナログの時代でした。

昭和60年代に入るとワープロが普及し、庁舎内にワープロ室が設けられ、大画面のデスクトップタイプのワープロが設置されました。その後、時代が進むと設計書の作成にもパソコンが使用されるようになり、平成11年には2000年問題で庁舎に夜間待機したこともありました。時代が進むとともに業務内容も変化し、県庁に1日に2回も行くこともなく、今はメールでの書類の送付など便利な世の中になったものだと実感する毎日です。古い書類を書庫で探しては懐かしさを感じるのは私だけでしょうか。



建設部長 阿部 光弥

